



花の風だより

第45号
令和4年9月号



宇都宮市緑化ボランティア通信

6月の盛夏と思える天候から極端に短い梅雨、7月の戻り梅雨のような天気から各地での豪雨を経て、猛暑再来の8月です。

花たちにとっても、非常に苛酷な生育環境だと思えます。その中をたくましく生き延びて、穏やかな秋を迎えて、色鮮やかな花を咲かせていくであろう植物達に感謝です。近隣では、芙蓉やポーチュラカやコリウスが、秋花に繋ぐべく今も健気に咲き続けています。



緑化ボランティア養成講座 ～22期生の巻～



令和4年度緑化ボランティア養成講座全6回が無事に終了し、16名の22期生が誕生しました。

学科部門の第1回から第3回にかけては、植物の効用や園芸の基礎知識など、緑化に関する知識を学び、第4回と第5回では実際の活動で活用できるよう、実習を踏まえながら、寄せ植えの作り方や挿し芽の行い方を学びました。皆さん積極的に質問や発言をされ、楽しく熱心に学ぶことができたと思います。

また、実技部門では、先輩ボランティアに教わりながら、各活動場所での、植栽などの定例活動に参加しました。

今後、各活動場所やイベントと一緒に活動するのが楽しみです。



緊張気味のスタート (第1回)



自己紹介 (第2回)



園芸のコツを知ろう (第3回)



寄せ植え (第4回)



挿し芽 (第5回)



先輩ボランティアと対談 (第6回)



定例活動に参加 (実技部門)

睡蓮の花咲く猿沢の池

第19回（令和元年度）宇都宮市まちなみ景観賞
花みどり部門 受賞



梅雨時とは思えないほど真夏の暑さを感じさせる6月20日（月）、編集員4人で今里にある猿沢の池に向かいました。

池の広さは500㎡と聞いており、壮大な池を想像していましたが、こぢんまりとした心地よい空間でした。池には木道や木造のベンチも設置されており、早速ベンチに座り、じっくりと水面を見渡すと、白・ピンク・濃いピンク色をした清楚な睡蓮が所狭しとばかりたくさん咲いていました。

こんな身近に花の大群を見たのはいつの頃だっただろうか。。青空の下、一つ一つ姿形のなんと美しいこと。。しばらく見とれてしまいました。

時折吹いて来る風に心地よい涼しさを肌で感じながら、鶯の鳴き声、グワグワと蛙の声も、どこかのどこかで懐かしく、身も心も癒されたひと時でした。

写真を数枚スマホに収め、猿沢の池を後にしました。帰る途中、あの素晴らしい池を守り、管理し、提供して下さっている地元の方たちにも感謝をしながら帰路に着きました。



猿沢の池を管理されている地元有志グループの「今里水と緑を守るみんなの会」手塚会長様に、後日お話を伺いました。

現在、8名のメンバーで維持管理をされています。冬に雑草取りがありますが、池に入るとの雑草取りは、足がなかなか抜けなくなるため、とても大変な作業だそうです。お伺いした6月は、特に維持管理はしないそうです。

今後は、除草した北側にも、睡蓮が広がっていく予定だそうです。

※見学の際は、「癒しの空間」を壊さぬよう、車は所定の駐車場に停めてください ♡





種類豊富な花の背景を巡る

～第三章



第三章

遺伝子型×環境相互作用とは？～

今回は『遺伝子型×環境相互作用』という観点に触れたいと思います。

これは“表現型=遺伝子型×環境”という式で表され、表現型（実際に視覚で捉える植物の姿）は、遺伝子型（ある植物個体が持つ遺伝物質の構成）と環境との相互作用で決まる、という事です。言い換えると、表現型は遺伝子型と環境それぞれから影響を受けるだけでなく、遺伝子型と環境の相互作用の影響をも受けています。

育種家が品種改良を進めていくうえで、品種候補Aは特定の環境においてのみパフォーマンスが良いが、品種候補Bは、いかなる環境においても平均的なパフォーマンスが良いという場合があります。この場合、育種家の選択はその時点での目標を重視するか、あるいは将来の目標を重視するかで異なります。

上記の考えは野生生物においても当てはまる事です。すなわち、野生生物（特に植物）はその生育環境に適応している進化を経ており、生育場所とは環境の異なる場所では、適応できずに生育が劣ってしまう場合があります。つまり生態学的にも重要な課題という事です。



多くの場合は、形質を支配する遺伝子は複数（微動遺伝子×1）あるので、環境との相互作用が認められ、局所的な環境で良いパフォーマンスを示します。つまり、A地点では良く育つが、B地点ではあまり育ちが良くないという事です。一方、相互作用が認められない場合、その形質は主動遺伝子×2に支配されているので、どのような環境でも同じパフォーマンスを示します。

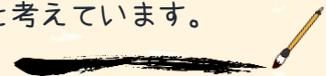
* 1 微動遺伝子：小さい効果を持つ多数の遺伝子群。収量・草丈・体重等の連続的に変化し計量して区別する「量的形質」に関与する。

* 2 主動遺伝子：強力な作用を持つ遺伝子。「質的形質」（区別が明らかな不連続な変化を示す色・シワ等）に関与し、基本的に「ある or なし」で機能する。少数の遺伝子で作物の特性を大きく変えるので、遺伝させやすく選抜しやすいという特徴がある。



人間形成や教育においては、遺伝的要因と環境的要因の両方がいずれも重要であることは、一般的な常識となっています。遺伝的要因の重要性を説く「蛙の子は蛙」、環境的要因の重要性を説く「孟母三遷の教え」といった諺が、人口に膾炙していることはその証左の一つです。氏（遺伝）と育ち（環境）の問題は古来多くの人の関心を引き付けてきました。

人間は複雑な生き物（多くの形質=資質は微動遺伝子に支配される。もちろん、特定遺伝子にのみ支配される病気はあります）なので、与えられた環境で表現型（その人のパフォーマンス）が変わり得るということだと理解しています。『ヒトは住む環境（社会&家庭）によってどうしても変わり得るので、そのヒトに適応した環境を与える or 探し出すことが大切』と考えています。



※孟母三遷の教え…子どもは周囲の影響を受けやすいので、子どもの教育には環境を選ぶことが大切であるという教え。

※膾炙…広く言われていること・広く知れ渡っていること。



今回は別の観点から、

品種改良（新規育種技術バイオテクノロジーの利用）の話します。

緑化ボランティア活動予定表 (9・10・11月)



活動場所・集合場所	集合時間	9月	10月	11月	曜日
【釜川プロムナード】 ふれあい広場	8時	4 日	2 日	13 20 日	毎月第1日曜日
		11月の釜川プロムナードの活動は2回あります			
【サン・アビリティーズ】 玄関前	9時	7 日 21 日	5 日 19 日	2 日 16 日	毎月第1・第3水曜日
【JR宇都宮駅】 東口プランター	9時30分	1 日	6 日	7 日	毎月第1木曜日
		11月のJR宇都宮駅の活動は7日月曜日になります			
【河内図書館】 玄関前	9時30分	1 日 15 日	6 日 20 日	3 日 17 日	毎月第1・第3木曜日
		11月3日の活動はお休みになります			
【平出工業団地公園】 小花壇	9時30分	8 日	13 日	10 日	毎月第2木曜日
【南図書館】 北側車庫前	9時	8 日 22 日	13 日 27 日	10 日 24 日	毎月第2・第4木曜日
【平出工業団地公園】 大花壇	9時30分	22 日	27 日	24 日	毎月第4木曜日
【宇都宮駅東公園】 花壇前	9時	16 日	21 日	18 日	毎月第3金曜日
【東図書館】 中庭花壇前	10時				

編集後記

今夏はヘメロカリス・クロコスミア（モントブレチア）・リアトリスが今までになく花数が多く、長く楽しむことができました。すぐそばで樹勢の強かったレンギョウを強剪定したので、日当たりも風通しも良くなったからかもしれません。やはり、よい生育環境を与えることが、本来のパフォーマンスを生み出すことに繋がるのを再実感しました。（真田）

草花が伸び放題の庭、手入れが追い付かない毎日です。でも、その上を吹いてくる涼やかな風に癒されています。（E）



高校野球も、決勝で仙台育英高校が勝利で有終の美を飾りました。天候による順延もなくなによりでしたが、この夏の天候不順は全国にわたり大きな被害を与え、テレビニュースでは大雨洪水災害警報が当たり前のように流れておりました。これからは台風の季節が始まります。どうかこれ以上被害のないように、穏やかな秋であることを祈る気持ちです。（八ちゃん）

今年も森の妖精とも言われている「レンゲショウマ」の花が、我家の庭に咲いています。コーラスを通して友となった人からのプレゼントでした。あれからもう8年。今も見事に咲いてくれていますが、年月の早さにも驚くばかりです。（ナヨ）